



Kaselehlie

rahn lap

August-01



はじめまして ☺

こんにちは。ミクロネシア連邦、ポンペイ州、アワック小学校で小学校教育という職種で青年海外協力隊として派遣されている小林未季と言います。埼玉県の公立小学校で11年間、在外教育施設（日本人学校）で3年間お仕事をさせていただき、2024年度1次隊8月6日に日本を立ち、ここへ来ています。

通信「Kaselehlie」（カセレリエ）私の住むポンペイ島の言葉、ポンペイ語で「ごきげんよう！」という意味です。島の人たちはとてもフレンドリーで、声をかけると笑顔で「カセレ」「レーリエ」と返事を返してくれます。気軽に島の人たちと繋がる素敵な言葉。この通信を通して、日本とミクロネシア。距離はありますが、ここが、気軽に繋がる機会になったらと思います。通信は、不定期で、隊員としての活動はもちろん、青年海外協力隊とは？や島の人たちの文化や生活に慣習もお知らせしていきます。



せいねんかいがいきょうりょくたい 【青年海外協力隊って？】

開発途上国の国づくりに協力するため、現地で奉仕活動をする隊員のことを言います。1965年発足。開発途上国の要請に基づき、国際協力機構がその業務を行います。資格は日本国籍を有するもの。約3ヶ月の訓練のあと、派遣されることとなります。1～10ヶ月の短期派遣制度も実施されています。これからもっと国が伸びていくためのお手伝いをしたい気持ちとそのスキルが、今世界で求められています。

